



〈発行〉  
掛川市議会  
日本共産党  
掛川市長谷  
1-1-1  
〈連絡先〉  
勝川しほこ  
電話・FAX  
22-1325  
ご意見・ご  
要望をお寄  
せ下さい

# 安心・安全な通学路に！ 官製ワーキングプアをうまない雇用を！

9月定例会での  
勝川議員の一般質問

**通学路の安全確保は市が責任を迅速な対応を**

**市民のための市役所の雇用あり方を**

**有権者の選挙権行使を保障するためにはできないか**

- ◆勝川 南郷地区など児童数が急増しているところでは、通学路整備が後手に回っている。対応窓口が多岐にわたる交通安全対策は、地区や学校任せにしない行政のイニシアチブを。
- ◇教育長 なるべく急いで対応する。新しく組織を作ることは考えていないが、緊急安全点検では各課をまたいで調査した。
- ◇市長 関係部署との連携強化をはかり、プロジェクトチームのようなものも検討する。
- ◆勝川 通学路等の危険なブロック塀の撤去、特に民間の危険箇所がある。昨年の調査であがった約800件をどう追いかけていくのか。地震津波整備基金からの貸付制度を作るとか工夫は。



南郷地区交差点の南北方向には右折レーンがありません



縁石の切れている部分では歩道からはみだしも



この狭い歩道を通って毎日通学しています

**危ないと感じた心ある大人は自主的に見守りをしている。環境整備は行政の本気度が問われている。**

◇都市政策部長 ブロック塀の撤去・更新については助成制度も広げてきた。都市政策の職員が訪問調査もしている。危険箇所減少に努めていく。

掛川市職員数	
正規	774名
再任用	11名
非常勤(月給)	130名
非常勤(時給)	343名
※各課直接雇用含む	

上記の直接雇用以外に民間委託は窓口(受付・市民課・水道)やゴミの収集など 多岐にわたっています。

- ◆勝川 国家資格を持つ専門職雇用を市として広げべき。社会福祉士を福祉職として採用し、福祉課窓口やスクールソーシャルワーカーとして学校に配置する、図書館司書を正規採用するなど、専門性を持った職員の配置を。
- ◇市長 現在のところ専門職の採用は考えていないが、今後検討する。
- ◆勝川 非正規職員の時給は最低賃金(855円)とほぼ同じ890円。待遇の改善を。司書など専門職に見合う基本給の引き上げを。
- ◇総務部長 人勧の内容などもふまえ、近隣も見ながら検討する。

**地域循環型経済という観点からも市役所の仕事が貧困と格差を助長して官製ワーキングプアをまねくものであってはならないと思います。リスクを伴う戸籍等の業務は民間委託ではなく職員の適正な配置を。公共の質を担保するために過度の委託には反対です。**

- ◆勝川 会計年度任用職員制度は継続雇用の保障もなければ、産休や育休もとれない働く側の権利が保障されない非常勤雇用。1日だけ勤務しない日をつくり、月給扱いをせざる日給扱いにするなどというやり方をせずに、多少とも働く市民の権利擁護を。
- ◇市長 公が当然やるべき事は正規職員でしっかり進めていく。
- ◆勝川 戸籍等の個人情報管理部門の外部委託拡大が、個人情報漏洩のリスクを高め、サービス低下をうまないか。
- ◇市長 契約の中で担保していく。
- ◆勝川 会計年度任用職員制度は継続雇用の保障もなければ、産休や育休もとれない働く側の権利が保障されない非常勤雇用。1日だけ勤務しない日をつくり、月給扱いをせざる日給扱いにするなどというやり方をせずに、多少とも働く市民の権利擁護を。



- ◆勝川 選挙の投票率低下が止まらない。選挙公報を新聞折り込みに頼らず全戸に
- ◇総務部長 新聞の折り込みでは66%の世帯しか届けられていない。検討していく。
- ◆勝川 ネットの利用や、ややこしい不在者投票利用方法も高校卒業時に説明して若者の投票率の向上を
- ◇総務部長 工夫する。
- ◆勝川 期日前投票所を市役所、支所以外の駅などに設置できないか
- ◇総務部長 他市の例なども参考に検討していく。
- ◆勝川 自力で投票所に行くことが困難な高齢者向けに、投票デマンドタクシーとか、投票福祉バスとか新しい工夫を
- ◇総務部長 検討する。



**誰もがちゃんと投票ができる、そして政治を身近に感じ、投票に行きたくなるような仕組みや運用を求めます。**